

2022 年 1 月 20 日

## 「ANCHOR RP9」が「日本バイシクル・オブ・ザ・イヤー2022」を受賞

ブリヂストンサイクル株式会社が開発したロードバイク「ANCHOR RP9」が、「日本バイシクル・オブ・ザ・イヤー2022」(主催:日本バイシクル・オブ・ザ・イヤー2022 実行委員会)を受賞しました。



日本バイシクル・オブ・ザ・イヤーとは、2018 年から開催され、日本国内におけるその年を代表するロードバイクを選ぶアワードです。

「ANCHOR RP9」は、日本ブランドとして初のベスト 10 ノミネートおよび受賞となりました。

ブリヂストンサイクルは、これからも自転車を通じてより快適なサイクルライフを提案してまいります。

### 受賞モデル「ANCHOR RP9」概要

「ANCHOR RP9」は、自転車競技トラック日本代表に供給し使用されたトラックバイク開発で磨きをかけたブリヂストン独自の解析技術「PROFORMAT(プロフォーマット)」を用いて開発された新型ロードバイクです。

空力・重量・剛性を高次元でバランスさせ、平地巡航・登坂・アタックなど、あらゆる環境の入り乱れるステージレースを 1 台で勝てるバイクを目指しました。



<ANCHOR RP9 特設ページ> <https://www.bscycle.co.jp/anchor/rp9/>

<選考委員コメント>

今回、アンカー・RP9 が日本ブランドとして初めてナンバー1 の座を獲得した。いままで5回開催されてきたバイシクル・オブ・ザ・イヤーの歴史のなかで、日本ブランドがベスト 10 にノミネートしたのも初めてのこと。そしてアンカー・RP9 は海外ブランドとの激戦を制して、日本ブランドとして初めて受賞することとなった。

その評価として大きかったのは、速さだけではなく走りの質の高さだ。

「軽快な反応性を生む硬さを持ちながら、脚への優しさも感じるバランスのよさ」(ハシケン<sup>※1</sup>)、「脚当たりのよさと世界トップレベルの性能をここまでバランスさせたフレームは少ない」(安井行生<sup>※2</sup>)、「高い次元で速さと乗り心地のよさを最適化できる夢のような時代がきた。RP9 はその象徴だ」(山口博久<sup>※3</sup>)というように審査員たちのコメントに現れている。

さらに RP9 を開発したアンカーのバックグラウンドにあったのは東京 2020 を目指したトラックバイクの開発で培った技術だ。そういう意味で RP9 は、単に「優秀なロードバイク」であるだけでなく、日本の自転車競技界あるいはスポーツ界という大きな枠組みのなかでも、後世に名を残すエポックメイキングなバイクとして名を残したといえる。

※日本バイシクル・オブ・ザ・イヤー2022 受賞の詳細については下記 WEB サイトを参照ください。

<https://funq.jp/bicycle-club/article/769922/>

※1 選考委員のハシケン氏(自転車ジャーナリスト)

※2 選考委員の安井行生氏(La route/ハーモニクス)

※3 選考委員の山口博久氏(バイシクルクラブ/ピース)

本件に関するお問い合わせ先

<報道関係> 広報担当 原島 sae.harajima@bridgestone.com 下山 tomoyuki.shimoyama@bridgestone.com  
<お客様> お客様相談室 TEL:0120-72-1911



本ロード競技用自転車機材の開発は競輪の補助を受けて実施しました